

市長あいさつ



北海道北西部の日本海沿岸に位置する留萌市は、豊かな自然と温かな人々が魅力の港町です。

ハート形の地形を持つこのまちには、世代を超えた温かいコミュニティが息づいており、「黄金岬」から望む夕陽は「日本の夕陽百選」に選ばれています。

留萌の海は、豊かな恵みをもたらしてくれます。

「塩かずの子」の生産量は日本一。ホタテ、甘海老、タコ、ウニなど、新鮮で質の高い海の幸が水揚げされています。

また、食味鑑定コンクール金賞に輝く「南るもい産米」をはじめ、大地の恵みも豊かです。

海と大地の恵みが織りなす、留萌ならではの食文化があります。

留萌の「市民力」

留萌市は、先人たちの情熱と行動力によって今日の繁栄が築かれてきました。

「留萌港開発の父」として知られる五十嵐億太郎翁をはじめ、多くの市民有志が、様々な分野で夢を実現してきた歴史があります。その精神は今も生きています。

全国から高い評価を受けている三省堂書店の誘致、音楽合宿の開催など、市民の皆さんが中心となって、新しいまちづくりへの挑戦が進められています。このような「市民力」こそが、留萌の最大の財産です。

新しい可能性へ

人口減少という課題に直面する中、留萌市は新しい可能性を広げています。

道の駅るもいは、屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」の開業により、市民と全国から訪れる皆さんとの交流の場となっています。

また、アウトドア・アクティビティ拠点施設の整備により、四季を通じた自然体験の充実も進んでいます。

ゴールデンビーチるもいでの海水浴、サイクリング、サップなど、留萌の自然を楽しむ環境が整いつつあります。

留萌市民と、全国から訪れてくださる皆さんが一緒になって、このまちの新しい可能性を広げていきたいと考えています。

市民の皆さんの声に耳を傾け、笑顔あふれる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

留萌市長 益 田 克 己

